

信州大学医学部附属病院、長野市民病院、飯田市立病院に通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2023年3月10日

**「消化器癌および頭頸部癌における IgG4 発現の臨床病理学的検討」に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5171
研究課題名	消化器癌および頭頸部癌における IgG4 発現の臨床病理学的検討
所属(診療科等)	病態解析診断学
研究責任者(職名)	上原剛(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2026年5月31日
研究の意義、目的	消化器癌および頭頸部癌における IgG4 陽性細胞の浸潤程度を明らかにすることを目的とした研究で、予後予想や治療法開発に貢献すると考えられます。
対象となる方	2000年1月1日から2020年12月31日からの期間に共同研究機関で膵胆管合流異常症について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	性別、年齢、入院・外来の別、身長、体重、合併症、既往歴、原病歴、使用薬剤、術前血清生化学的検査結果、病理結果、術後経過、組織など
他機関から試料・情報の提供を受ける方法	パラフィンブロック検体は郵送、患者情報は電子的配信により提供を受けます。
研究方法	過去の診療記録や組織検体から上記の内容を収集し、IgG4 陽性頻度と各種診療記録との関係性について検討します。
共同研究機関名(研究責任者氏名)	信州大学(責任者:上原剛)、長野市民病院(責任者:草間由紀子)、飯田市立病院(責任者:佐野健司)
研究代表者	主任施設の名称:信州大学 研究責任者:上原剛
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 上原剛(病態解析診断学・准教授) 電話:0263-37-2805

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

患者様を直接特定できる個人情報を削除した上で提供された試料・情報等を利用します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。